

「保存版」服の健康寿命をのばす お手入れ方法大全

How to care for your clothes.

イルサルト創業から今年で丸16年をむかえました。今までに延べ20,000人以上の経営者の会社の顔としての佇まいをお仕立てさせて頂きわかったことがあります。それはお仕立てから2年ほどたったころからお品物の状態におおきな差がつくという事実。お仕立てから1年後くらいだとさほど変わらない状態が2年経つころにはまるで別物のように違っているのです。この差は“日々のお手入れ方法の差”汚れていたりシワがはいっていたり健康状態のよくない服を着ているとだらしない印象をあたえるだけでなく自己概念もあがりません。そこで今回のIPではさまざまなお手入れ方法の中でも、わたしが日々実践し効果が確認できている方法のみをご紹介します。ぜひ実践していただき服の健康寿命を伸ばしてあげてください！

HOW to CARE 03

応急処置はしない！

No first aid.

食べ物や飲み物をこぼし服が汚れてしまうことがあります。そんなとき、おしぼりでつよく拭くと余計に汚れがとれにくくなります。拭きたい気持ちはわかりますがその場ではなんにもせず出来るだけはやく染み抜きにだしてください。どこのクリーニング屋さんにだしたらいいのか分からない・・・そんな場合はイルサルトにお送りいただけたらご対応をさせていただきますのでご安心ください！

HOW to CARE 01

ローテーションを守る！

Maintaining a rotation.

1度着用したら3～4日は休ませる。これが“ローテーション”これはスーツだけでなくシャツ、靴、バッグなど全てのアイテムに当てはまります。休ませることでシワ・湿気が自然と取れていき、服は元気をとりもどしていきます。使用頻度の目安は「週1回」さまざまな服の健康法のなかでもっとも大事なのがこのローテーション。まずはこのローテーションを実践するだけで健康寿命を飛躍的に伸ばすことができます。



HOW to CARE 01

すぐにクローゼットに入れない

Don't put it in the closet right away.

あつい季節は特に1日着用したスーツは汗を吸い湿気を帯びています。汗が完全に服から抜けるには約72時間かかると言われていいます。湿気をおびたスーツをすぐにクローゼットに入れると、湿気や臭いが他のスーツに移ってしまいます。そこで着用したスーツを一晚はクローゼットの外で陰干し(光の当たらない所にかけておく)してからクローゼットに入れるようにして下さい。その際に脱臭機能がついているハンガーをつかうことでより効果的に湿気を取ることが可能です。

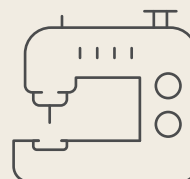


HOW to CARE 02

破れはすぐ補修！

Repair any tears immediately.

ひっかけて穴があいてしまった・・・そんなときは出来るだけ早く補修してください。最初は小さい穴でも放置しておくといくつとどんどん大きくなってしまいます。こんな破れが直るのだろうか？と言うものでも補修できる範囲は意外にありますのでまずはご相談下さい。また完全に穴があいた場合でも「カケツギ」という生地を移植する特殊な方法もありますのでまずはご相談ください！



全てに共通のお手入れ方法